

ロービジョン: 最新版IT的QOV対策

[日時] 2014年6月29日(日) 11:50-12:50

[場所] 第2会場 アリスアクアガーデン品川

〒108-0075 東京都港区港南2-16-5 三菱重工ビル グランパサージュII 3F

座長



国松 志保 先生

東北大学

座長のご挨拶

眼科分野では、新しい薬剤や手術デバイスが登場し、画像解析の発展によりさまざまな新知見が得られていますが、日常生活との関連、すなわちquality of vision(QOV)については、今なお、不明瞭な点が多いのです。

それでは、quality of vision(QOV)とは何でしょうか?「見えない」を、「見える」ようにすればよいのでしょうか?

「見える」ようになるために、最善の治療を行うのが眼科医の役割ですが、実は、濁った白内障を除去した、高かった眼圧を下げた、網膜をくっつけただけでは、「見える」ようにはならないのです。従来の治療に加えて、正しい補装具を選定する、羞明を軽減する、そして、患者さんのお話を聞く…等々のプロセスの追加が必要であり、それがロービジョンケアの神髄ともいえるべきところですが、これは、いわゆる教科書だけでは勉強できない、「とっつきにくい」ところでもあります。

今回は、まずは安藤伸朗先生に、「見えない」を「見える」にするQOV改善の極意について、ご講演いただきます。そして、三宅琢先生には、iPad、iPhoneを用いた「デジタルロービジョンケア」という新しい視点でご講演いただきます。

QOV改善に向けての大事なキーポイントを、わかりやすくご解説いただけることと思います。ふるってご参加ください。

演者

「見えない」を
「見える」にするのが眼科医



安藤 伸朗 先生

済生会新潟第二病院

iPad、iPhoneを用いた
新しいデジタルロービジョンケア



三宅 琢 先生

東京大学
先端科学技術研究センター
人間支援工学

ロービジョン: 最新版IT的QOV対策

ロービジョン対策として、精神的も含めたケアが強調されるけれど、その始まりは眼科疾患なのだから「QOVの確保」が、まずは優先事項であるはず。しかし、ロービジョンに直面すれば、つい尻込みしてしまい、そのトツキから上手く行かず、結局QOVは口の端に上るだけで…。そんな現状を見かねて、網膜硝子体疾患の診療を通じて「QOVの確保」を文言に留めることなく、さらに、精根込めて「ロービジョンへのQOV対応」を実践していらっしゃるのが安藤伸朗先生。

さて、世の中ITが全盛。ITが得意とするユニバーサルデザインや画面操作のしやすさ、持ち運びに便利、そして格好いい、などの利点に注目した種々の提案が真っ盛り。そんな中で、ITのカメラ機能を拡大読書器として活用することなど、「ロービジョンへのQOV対策」を提案されているのが三宅琢先生。

ご講演がロービジョンに対する私どもの心根を「勇気凛々・瑠璃の色」に変身させ「IT的ユニバーサル対応」に向けた第一歩を踏み出すための後押しとなることは確実。

演題①

「見えない」を「見える」にするのが眼科医

眼科医の仕事は、視力・視野・眼圧の改善ではない。QOV & QOLの改善である。

安藤 伸朗 先生 済生会新潟第二病院

演題②

iPad、iPhoneを用いた新しいデジタルロービジョンケア

視覚障害者を情報障害者にならないための全く新しいロービジョンケア

三宅 琢 先生 東京大学 先端科学技術研究センター 人間支援工学

座長略歴

国松 志保 先生

- 1993年 千葉大学医学部卒業
東京大学医学部眼科・研修医
- 1994年 東京大学医学部分院眼科・助手
- 1995年 国保旭中央病院・医員
- 1996年 日本医科大学眼科・助手
- 1998年 東京大学医学部眼科・助手
- 2005年 自治医科大学眼科・講師
- 2012年 東北大学病院眼科・助教
自治医科大学眼科・非常勤講師
- 2013年 東北大学病院眼科・講師

演者略歴

安藤 伸朗 先生

- 1977年 新潟大学医学部卒業
新潟大学眼科学教室入局
- 1987年 新潟大学医学部講師
- 1991年 米国Duke大学留学(1年間)
- 1996年 済生会新潟第二病院に赴任

三宅 琢 先生

- 2005年 東京医科大学医学部 卒業
東京医科大学八王子医療センター 初期研修
- 2007年 東京医科大学眼科学教室 社会人大学院
- 2012年 東京医科大学眼科学教室 兼任助教
永田眼科クリニック 非常勤医師
Gift Hands 代表
三井ホーム株式会社 産業医
- 2013年 東京大学先端科学技術研究センター
人間支援工学中邑研究室 特任研究員
- 2014年 株式会社Studio Gift Hands 代表取締役
独立行政法人理化学研究所 神戸研究所
発生・再生科学総合研究センター
網膜再生医療研究開発プロジェクト 客員研究員